

# 先憂後楽



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいるのを見届けてから初めて自分も楽しむ」という意味です。  
(題字揮毫 林田悠紀夫先生)

2003.7 第16回 府政報告 多賀久雄事務所  
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL(0772)22-6335 FAX(0772)22-6335  
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail: taga@tango.or.jp

皆様の力強いご支援によりまして、17602票という立派な成績で当選させていただき、去る4月30日から三期目のスタートを切らしていただきました。

皆様から賜りましたご激励、ご支援に対しまして心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、我々の暮らす宮津与謝地域における合併論議も佳境に入ってきておりますが、国においても三位一体改革、京都府においても地方振興局等の再編など、21世紀の日本国づくりが進んでおります。その象徴的なものでありました「首都機能の移転」が衆参両院で残念な結末となりましたが、私も政治家の一人として、「過ちを改めるにはばかりなことなかれ」の精神でしっかり発言してまいりたいと存じます。

いよいよ暑さも厳しくなっております折ですので、お身体ご自愛下さいませようお願いいたします。

## みんなで創ろう! 輝くふるさと



がんばろう!!

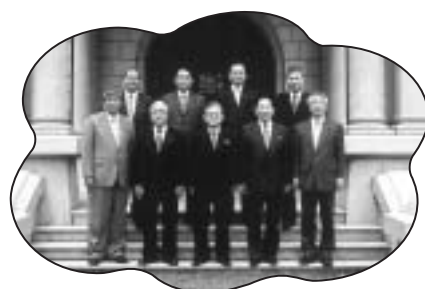


京都府議会議員 多賀久雄

.....

### 三位一体改革??

小泉総理が号令をかけ、地方分権改革推進会議でまとめられ、経済財政諮問会議で練られたものは、皆様にこれが届く頃には閣議決定されていると思います。京都府議会の意見が取り入れられておれば大変うれしいですが、多分国と地方の言い分を足して二で割る的な結果となっているんじゃないかなと思ながらこの原稿を書いております。いずれにしても、地方分権推進改革会議の



意見が、11名の委員の内4名の委員が反対し、1名の委員が意見書への記名を拒否したほか、財務大臣の反応をうかがいながらの税源移譲発言、総務大臣の地方分権改革推進会議議長の辞任要求、各省庁の族議員も巻き込んでの抵抗など、「何をか言わんや」であります。



三位一体改革は覚悟がいる改革であります。例えば、国庫補助負担金制度が無くなれば、霞ヶ関詣でや永田町詣でという仕事の負担が軽くなる反面、地域づくりの当事者としての自己決定・自己責任という重みは、今までとは比べ物にならないくらい、知事や市町村長、地方議員に重くのしかかってくるのであります。金も持たない中央官僚に誰も頭を下げない、天下国家よりも我田引水が大事という国会議員は尊敬されない、知事や市町村長は国がという言い訳ができない、地域づくりのチェックが果たせない地方議員はいらないなど、三位一体改革が求める覚悟は強烈であります。

地方分権まだまだ道遠してありますが、発信し続けたいと思います。皆様にもお考えいただく参考として、京都府議会の意見書を掲載します。

### 地方税財政制度の「三位一体改革」に関する意見書

現在、国においては、国庫補助負担金、地方交付税、税源移譲を含む税源配分のあり方について三位一体で検討し、その改革案を取りまとめることとしているが、真の地方分権を確立し、行財政自主権を拡充するためには、地方財源の充実が不可欠であり、国と地方の事務配分を踏まえた税源移譲が必要であることは言うまでもない。

しかしながら、今回明らかとなった地方分権改革推進会議の小委員長試案は、国から地方への税源移譲を先送りする一方で、国庫補助負担金や地方交付税を廃止・縮減するなど、国の財政再建のために地方財源を削減する内容となっており、認められない。

よって、国におかれては、地方分権の原点に立ち返り、税源移譲等、地方税財政基盤の充実強化を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成15年5月23日

衆議院議長	綿 貫 民 輔 殿
参議院議員	倉 田 寛 之 殿
内閣総理大臣	小 泉 純一郎 殿
総務大臣	片 山 虎之助 殿
財務大臣	塩 川 正十郎 殿
経済財政政策担当大臣	竹 中 平 蔵 殿

京都府議会議長 田 坂 幾 太

## ことしの予算

昭和62年頃の税収の水準という厳しい財政環境の中で、財政の健全化と未来づくりに向けた積極予算という二つの要素を、うまくバランスさせた予算であると評価できます。

### 気になるあれこれ

宮津から須津までの高速道路はどうなるの

15年度から国道として整備

丹後の観光をどう振興させるの

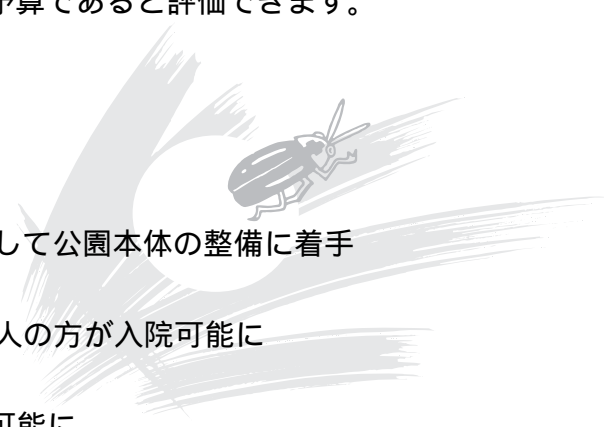
丹後リゾート公園の17年度完成を目指して公園本体の整備に着手

与謝の海病院の入院待ちはどうなるの

16年度から一般病床を36増やして276人の方が入院可能に

老人ホームの待機者はどうなるの

15年度は府内で合計310人の方が入所可能に



## 住民を守る

有事関連三法案は、国民保護法制を1年後にという宿題はあるものの、去る6月6日に成立しました。その日は、京都府防衛協会の総会に出席しておりまして、当然ながらそのことが会話の中心でありました。与野党決裂という形でなく成立したことは、本当によかったと思います。

さて、その宿題の国民保護法制であります。読売新聞に「200X年有事シミュレーション」という記事が掲載されました。内容の一部を紹介しますと、《首相の指示を受けたX、Y両県知事は、県内の市町村長に住民の非難を円滑に行うよう指示した。X県では、一部の住民が、隣県の親類宅などに自主的に非難を始めた。市町村や県警も住民の避難を誘導したが、X県には有事の避難実施計画などはなく、主要道路は渋滞・・・》というリードで、福井県の敦賀市長の、「仮に原発が攻撃されて被害を受けても、国道27号線など市内の主要道路は慢性的に渋滞している。住民の避難に支障が出るのではないか」というコメントでした。

私は宮津市の防災担当部長として、阪神淡路大震災後の各種の対応を経験しました。地震と有事では住民の協力度は違うと言われるかも知れませんが、今の日本では、強制力もなく、マニュアルもなく、訓練もせずという状況で、住民を安全に非難させ、住民の生活必需品を安定的に供給することは不可能であると言わざるを得ません。鳥取県では、法整備を待ってはおれないということで、既に研究に着手しております。国民保護法制に対する国への意見具申もさることながら、避難実施計画等京都府として整備する必要のあるものについて研究に着手するよう求めていくことも、私の任務だと思っております。

## 高速道路の開通

平成15年3月2日、待ちに待った高速道路が宮津まで開通しました。残念ながらまだ、京都市内まで直行という訳にはいきませんが、大阪・神戸方面には高速道路で行けるようになりました。開通以来今日まで一日約2400台の車が利用しており、5月4日には7837台の車が利用したとのこととあります。高速道路の開通によりいろいろな効果が期待されますが、二つの事例を紹介してみたいと思います。

一つ目は工場の誘致への期待であります。平成10年の通産省(当時)工場立地動向調査によりますと、高速道路のインターチェンジから10km以内の立地が68.5%を占めております。重厚長大型から加工組立型へと産業構造が変化した現在では、必要な材料の調達、製品の輸送が容易な高速道路のインターチェンジが周辺にあるかないかが、立地企業のトップの頭の中にあることは間違いのないようであります。

二つ目は新しい産地の誕生への期待であります。岩手県の胆沢(いさわ)町では、東北縦貫自動車道水沢ICの供用により、鮮度が命のピーマンを、高速道路で東京圏へ出荷することが可能となり、夏・秋ものに関しては品質・出荷量ともに日本一を自負するピーマン産地へと生まれ変わりました。

こんなヒントも横目で見ながら、この地域が少しでも潤うことを皆様と一緒に考えていきたいと思っております。





公舎会議員懇談会  
( 荒巻知事お別れ会 )  
平成14年2月8日

# 夏まつりと総会のご案内



ハッピー ハッピー



飲み放題!!  
食べ放題!!



今年の夏も.....わき愛、愛！  
海辺のガーデンでふれあいを大切にしたい。  
皆様と共に一夜の時。.....語りあいましょう？  
.....と言う事で、多数のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：8月2日(土) 午後6：00より(予定)

場 所：天橋立ホテル

料 金：男性4,000円・女性3,300円

送迎もあります。

ご参加は多賀久雄事務所迄ご連絡をお願いします。

TEL/FAX 22 - 6335



プリンセス受付嬢がお待ちしております

## 映画大好き

もうご覧になられた方もおられると思いますが、韓国映画「二重スパイ」を紹介します。主演のハン・ソッキュ氏は、『二重スパイ』では過去の辛い歴史を描き、『JSA』では現在の民族分断の苦悩に泣き、『シュリ』は未来への希望を予感させる映画として、私達の南北問題の三部作がようやく出来上がりました。映画はその国の文化そのものですから、その統一への平和の願いは、必ずや国境を超えてくれると信じています」と語られたようであります。

**ストーリー** 1980年、北朝鮮のスパイ、ピョンホが韓国に偽装亡命する。韓国側の信頼を得たピョンホは、女性スパイ、スミに接触して恋人同士を装う。しかし、二人は思わぬ窮地に追い込まれていく。

## 親子おもしろ漢字塾応援団

小学生達が父母や祖父母と一緒に、おもしろく漢字を学ぶことを通じ、これまで培われてきた漢字文化の継承に一役を買うとともに、家族の絆も少しは強まるのではないかといいことも願い、「親子おもしろ漢字塾応援団」(年会費千円)を設立いたしました。

話だけは聞いてみたいと思われる方やご参加いただける方は、多賀久雄事務所(TEL 22-6335)までご連絡ください。